



4月23日
市議選

政治を変えたい
あなたの一票を

日本共産党 市議会議員候補

関口直久へ

7071-11

■1950年川内町生まれ。県立桐生工業高校定時制卒
林当織物(株)、北村建設(有)、党勤務員を経て、79年29歳
で桐生市議に初当選。市議会建設常任委員長。ひまわり保育
園父母会長、子ども育成会会長、川内町5丁目第3町会長等歴
任。現在、桐生市議(7期)党東毛地区常任委員、党桐生市
委員長。家族 妻、長男。趣味 家庭菜園、音楽鑑賞

ちがいきり 日本共産党議員

ちがいその1 新市庁舎・新市民体育館…大型開発・ハコモノに市民の税金投入 市民の立場で市政をチェック

桐生市政は、この4年間だけでも、陸上競技場や市民体育館、梅田浄水場など、大型公共事業・ハコモノ優先。コロナや物価高騰で苦しむ市民のための施策は不十分。新市庁舎建設の問題では、「110億円もかけ、使い勝手の悪い分庁方式を撤回せよ」と市民の立場で市に迫ったのは日本共産党市議団だけです。

ちがいその2 市民の声、ブレスずに受け止める

◎採択 ▲継続

請願・意見書	共産	公明	クラブ21	創志会	そうぞう	無党派
核兵器禁止条約の早期批准	◎	▲	▲	▲	▲	▲
インボイス制度の実施中止	◎	▲	▲	▲	▲	▲
学校給食の無料化	◎	▲	▲	▲	▲	▲
安全・安心の医療・介護実現	◎	▲	▲	▲	▲	▲
保育士配置基準の拡充	◎	▲	▲	▲	▲	▲

※クラブ21は1人だけ採択を主張

ちがいその3 毎議会で発言。切実な願い実現の原動力

日本共産党市議団は、毎議会で欠かさず発言。市民から寄せられた要望を政策化し、実現を迫ってきました。その結果、●18歳までの医療費無料化。●台風19号被害の復旧工事完了。●水害の危険性除去へ、渡良瀬川中洲の樹木伐採の完了。●桐生市まちなか店舗リニューアル・事業継承支援補助金(商店リフォーム補助制度)創設など実現することができました。

大軍拡・大增税の岸田政権にノーの審判を

関口直久選挙事務所 川内町3丁目569 電話・FAXとも0277-46-9296
桐生市議会議員選挙候補者ビラ ●頒布責任者 藤掛順恒 桐生市相生町3丁目133-1 ●印刷者 強矢デザイン事務所 甘楽町白倉18-13

証紙



日本共産党 福祉の心いきづくあたたかい市政へ

関口直久はがんばります

子育て支援3つのゼロ

①学校給食費ゼロ

●2億7千万円あれば実現できます



②子どもの国保税ゼロ

●18歳までの均等割を廃止します

③保育料ゼロ

●保育士定数を増やし、健やかな発達を保障する保育の実現

●返済不要の給付型奨学金の創設

●保育士・学童保育指導員の処遇改善



財源はあります

一般会計当初予算	457 億円
財調基金	40.4 億円
国保基金	15.9 億円
介護保険基金	18 億円

※2023年度

ためこんだ基金を市民のために!

高齢者支援3つの安心

①車がなくても安心して暮らせる桐生

●おりひめバス、デマンドバス(予約制おりひめ)の増便や拡充。高齢者や障がい者へのタクシー券の支給を実施します



おりひめバス

②補聴器購入に補助

●6割の高齢者が、聞こえが困難になっています

③国保税・介護保険料の負担軽減

仕事とくらし地域経済を応援

◎住宅リフォーム助成制度の充実、店舗リニューアル助成制度の改善

◎桐生が岡公園や重伝建など、桐生の観光資源生かしたまちづくり

◎保育や福祉、教育施策を後退させる「行政改革」ストップ

◎ジェンダー平等。男女の賃金格差の是正

